

平成21年度 第1回 (4月) 理事会議事録

- 日 時 平成21年4月9日(木) 午後6時30分～8時27分
- 会 場 社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- 出席者 今井、運天、竹浦、吉本、高田、大垣、清水、
荒木、田畑、高橋、井戸田、出野、山田、宮野、
酒井、栗本、山西、小宮山、東野、村上、
事務(仲野)
- 欠席者 なし
- 議 長 今井

【討議内容】

I 行動報告 (3月分)

- 3月3日 日本医療学院専門学校卒業式
今井
合同フォーラム会議
今井、清水
株式会社事務機の本村
事務所移転の打ち合わせ
運天
- 5日 看護の日
～ハートフル大阪21～実行委員会
今井
- 7日 近畿医療技術専門学校卒業式
今井
- 12日 大臨技理事会
今井、運天、竹浦、吉本、高田、大垣、
清水、荒木、田畑、高橋、井戸田、山田、
宮野、酒井、栗本、小宮山、東野
大阪府病院年金会館 施設連絡会・
総会会場の確認
運天、田畑
- 16日 大阪医療技術学園専門学校卒業式
今井
- 17日 渉外部会
清水、大垣
- 18日 総務・会計部会
運天、吉本、荒木、栗本
- 19日 情報組織部会
井戸田、酒井、小宮山、山西
地区事業部会
田畑、出野、栗本
- 20日 海外協力委員会
今井
- 21日 施設連絡者会
今井、運天、竹浦、吉本、高田、清水、
荒木、田畑、高橋、井戸田、出野、山田、
宮野、酒井、栗本、山西、小宮山、東野、
村上
- 21日 平成20年度第2回定期総会
(平成21年度予算総会)
今井、運天、竹浦、吉本、高田、清水、
荒木、田畑、高橋、井戸田、出野、山田、
宮野、酒井、栗本、山西、小宮山、東野、
村上
- 24日 大阪府医師協同組合
運天、栗本
- 25日 第4回臨床検査教育機関懇談会
今井、運天、竹浦、吉本、高田、荒木、
田畑、高橋、井戸田、山田
- 25日 常務理事会
今井、運天、竹浦、吉本、高田、荒木
- 25日 大阪医療技術学園専門学校校章授与式
今井
- 26日 大阪府・大阪市・堺市・東大阪市
合同衛生検査所精度専門委員会
運天、村上、井戸田、酒井

- 28日 日臨技平成20年度第2回定期総会
今井、運天
- 28日 岩井行一氏を偲ぶ会
今井
- 30日 ニチマンビル管理事務所
原状回復工事確認
運天
- 31日 新事務所移転作業
運天、荒木、栗本

II 経過報告

- 1. 日臨技
 - 1) 3月21日に平成20年度第2回定期総会(平成21年度予算総会)が開催され、すべての議案が可決された。
 - 2) 4月15日～22日に街頭大型ビジョンでの特定健診啓発映像が放映される予定である。
 - 3) 公益目的事業の委託(委託金各30万円)
 - ① 平成21年9月、10月ガン征圧乳がん撲滅啓発事業
 - ② 平成21年12月エイズ、STI感染予防啓発事業
 - ③ 平成22年2月生活習慣病予防啓発
 - 4) AAMLS学会の一般演題の募集を4月15日までに延長した。
- 2. 近臨技
 - 4月4日に「第4回近畿医療フォーラム」を開催され、参加者は会員85名、非会員5名があった。
 - 4月4日に近臨技会長会議と予算委員会が開催された。
 - 日臨技の公益申請の現在の進行状況として、平成21年度に支部の組織化、平成22年度に支部の予算化、平成23年度に公益申請を行い、5月の決算総会において承認される予定である。
- 3. 公益法人移行委員会
 - 3月27日に臨床検査教育機関懇談会が開催されたため、公益法人移行委員会は開催されなかった。
- 4. 事務局
(総務部)
 - 3月18日に部会を開催した。
 - 大臨技定期総会の開催準備について検討した。
 - 「年輪」の作成について検討および校正作業を行った。
 - 賛助会員等の申込み状況の確認を行った。
 - 新規事務所移転について検討した。
 - 情報セキュリティ規程について検討した。
 - 大臨技ニュース3月号を発行した。
 - 大臨技ホームページを更新した。

(会計部)

 - 3月18日に部会を開催した。
 - 2月度収支決算書を作成した。
 - 日臨技へ2月分会費の送金を行った。

(渉外部)

 - 3月17日に部会を開催した。
 - 来年度の献血活動について
 - ① 平成21年8月、平成22年2月を予定している。
 - ② 日臨技共催目的事業の申請を予定している。
 - 合同フォーラムの反省会について報告を行った。
 - 手話講演会の日程および広報について検討した。
 - 今年度事業の反省を行った。
 - 事務所移転について報告を行った。
- 5. 事業局
(情報組織部)
 - 3月19日に部会を開催した。
 - 第25回技師長会(2月21日)の反省を行った。

- 新入会員研修会(5月16日)の内容について検討した。
- 検査運営研修会(8月22日)の内容について検討した。
(地区事業部)
3月19日に部会を開催した。
- 施設連絡者会(3月21日)について最終の打ち合わせを行った。
参加人数は93名であった。「輸血事故の例を通じて検査室の機器管理を学ぶ」の演者が、急遽欠席したが、関心が高いテーマでもあり、大臨技においても今後研修会等で取り上げてはとの意見があった。
- 来年度事業「マタニティカーニバル」、「会員交流会」に関して話し合った。
(学術部)
部会開催なし

Ⅲ 他、報告

1. 大臨技事務所移転について (運天副会長)

- 現在、ADSL回線であるが、光回線を導入することとする。
- 事務所の移転費用として2,292,675円、旧事務所の壁の現状復帰および修復費が390,000円と、予算の範囲内であった。
- 新事務所の鍵は、現在、理事と事務で22個所有している。セキュリティ上、原則新しい鍵は作らないこととするが、今後会議室の使用状況により検討を行う。
- 新たに、新事務所の使用規程、入退室の管理簿の作成を行う。
- プロジェクター用スクリーンを購入した。

2. 日臨技有功賞・功労賞受賞について (今井会長)

- 朝山氏 (元大臨技会長) が日臨技有功賞・功労賞を受賞された。
平成21年7月4日(土) 14:30~16:30 ホテル大阪ベイトワーにおいて受賞祝賀会を開催する。

3. 教育懇談会について (竹浦副会長)

- 3月25日に大臨技事務所にて開催された。
- 各施設(日本医療、近畿医療、大阪医療、大阪大学)の先生方と、会長、副会長、各部長、山田理事(広報)が参加した。
- 教育セミナーを7月18日(土) 関西医科大学附属滝井病院にて開催する。
- 平成20年度より執り行われた大臨技会長賞のクリスタルの受賞盾が、学生に大変好評であった。
- 各教育機関に対し、献血の呼びかけと大臨技ニュースへの記事掲載を要望した。

Ⅳ 議題

1. 看護の日について (今井会長)

- 大臨技として血糖値測定として5人が協力の予定であったが、看護協会より頸部エコーを実施して欲しいとの要望があった。このため、11:00から17:30まで4名が交代で担当し、超音波診断装置1台を準備する旨を看護協会に回答する。

2. 平成20年度決算総会について (吉本常務理事)

- 平成21年5月28日(木) 19:00~20:30 大阪産業創造館 6階会議室Eにて開催。
- 議長は、第1議長を総務部より杉山氏、第2議長を情報組織部より池田氏を選出する。
- 資格審査委員兼議事運営委員として田畑理事、井戸田理事を任命、会員3名は渉外部より選出、議事録署名人2名も渉外部より選出、5月7日までに吉本常務理事に報告する。議事録署名人は実印(印鑑証明含む)が必要である。

3. 新事務所のお披露目会について (運天副会長)

- 4月18日(土) 15:00より、大臨技0B、大臨技理事、支部役員を囲み、お披露目会を行う。

4. 今年度のデータ標準化サーベイについて (山西理事)

- 4月20日のデータ標準化推進委員会開催に際し、下記事項が承認された。
 - ① サーベイ実施日(本番)は10月13日(火)とする。
 - ② プール血清(サーベイサンプル)調整を10月12日9:00より大阪市立大学医学部附属病院にて実施する。
 - ③ 参加申込み期間は、7月1日から8月31日とする。
 - ④ 参加費用を1,000円とし、振込方法として大臨技の郵便局の口座を使用する。全施設に対し、6月号大臨技ニュースにおいて実施要項を告知し、7月号ニュースに案内文と振込み用紙を同封する。振込み期限を9月11日とする。
 - ⑤ 評価項目として、今回よりクレアチニンと尿酸を追加する。
 - ⑥ サンプルの濃度勾配調整として、グルコース、クレアチニン、尿酸の標準物質を添加する。
 - ⑦ プレサーベイとして、6月28日に基幹施設と関連企業を対象にサンプル調整を行い、サーベイ実施を6月29日とする。

5. 大阪府・堺市衛生検査所精度管理専門委員の推薦他(今井会長)

- 大阪府には、村瀬幸生氏(松下記念病院)・田畑宏道氏(北野病院)・石田繁則氏(大阪市立大学医学部附属病院)・山本章史氏(大阪府立成人病センター)・吉村英雄氏(大阪大学医学部附属病院)・運天政五郎氏(東住吉森本病院)の6名を推薦することとした。
- 堺市には、田畑泰弘氏(育和会記念病院)、酒井正容氏(府中病院)の2名を推薦することとした。
- 吹田市健康づくり推進事業団より、平成21年度「みんなの健康展」開催に伴う実行委員2名の推薦依頼に対し、人選を田畑理事に一任することとした。

6. 「情報セキュリティポリシー」について (栗本理事)

- 情報資産の保護・管理を実施するために「情報セキュリティポリシー」を策定する。
「情報セキュリティポリシー」は「情報セキュリティ方針」と「情報セキュリティ対策標準」と「情報セキュリティ実施手順書」の3つの階層で策定・管理する。
 - ① 「情報セキュリティ方針」
趣旨・対象範囲・適用者・用語・情報セキュリティ管理体制・セキュリティ対策標準構成・例外事項・罰則事項・公開事項・改訂などの項目がある。
 - ② 「情報セキュリティ対策標準」の管理体制として
 - A セキュリティポリシーの策定、改善目標の設定など全体のマネジメントは理事会が担当し、事務局長が統括管理責任者となる。
 - B 総務部が、具体的なセキュリティ対策を実施し、運用管理を行う。
 - C 各部会が、各委員への情報セキュリティの徹底とエンドユーザーへの指導、支援を行う。
 - ③ 情報セキュリティ実施手順として、ハードウェア、ソフトウェアの管理台帳を作成し、導入、撤去、廃棄等を管理する。
- 今後、理事会において遵守事項等の内容を検討の上、制定することとする。

7. 賛助会員への対応について

- 現在申込み企業は56社であるが、未申込み企業に対し、理事より再依頼を行うとともに、再依頼公文書を発送する。

Ⅴ 後援申請

1. 平成21年10月15・16日に開催される社団法人日

本経営協会主催の「関西ホスピタルショウ2009」の後援名義使用申請は承認された。

2. 平成22年3月20・21日に開催される日本消化器画像診断情報研究会主催の「第22回日本消化器画像情報研究会大阪大会」の後援名義使用申請は承認された。